

～健康長寿は^{◆◆}歯から～ ～健口から^{◆◆}健幸へ～

2026
September

.....
9

No.843

熊歯会報

熊本県歯科医師会

Kumamoto Dental Association



CONTENTS

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ● 緊急寄稿（会長 牛島 隆）.....3 | ● ゆるパース2026.....13 |
| ● 巻頭言（理事 豊田 正仰）.....5 | ● 口腔保健センター新聞第13号.....14 |
| ● 理事会報告.....6 | ● Legend～伝説のささやき～.....16 |
| ● 郡市会報告（下益城郡、阿蘇郡市、八代、荒尾市）.....8 | ● ご計報・新入会員.....17 |
| ● 国保だより.....12 | ● 会務報告.....18 |

— 歯科医師の倫理綱領 —

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

- 一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。
- 一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。
- 一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

あれから十年。一步一步積み重ね、ようやく取り戻した日常が再び奪われました。

惨状が明らかになるにつれ『祈るべき天と思えど天の病む』という石牟礼道子氏の言葉が刺さります。

酷暑の被災地での慟哭、混沌、分断、不条理、格差、軋轢。

誰しも力になりたいと心を痛めますが、被災者にとっての“復興”とは、「人生の再構築」。街の形を取り戻すことではなく、奪われた人生を一枚ずつ重ね直す長い長い道程です。

私たちは繰り返し被災した痛みを知る『熊本の歯科医師』としての矜持を胸に、県民が口から食べる喜びや笑顔を取り戻し、生きる希望を支えるべく、1番近いところで寄り添い続ける責務があると思います。

(N・A)



》 緊急寄稿

試練を乗り越え、被災会員診療所と 地域の口腔保健医療を守る ～「令和8年熊本地震」に際して～

一般社団法人 熊本県歯科医師会会長 牛島 隆



このたび発生いたしました「令和8年熊本地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に対し、深悼の意を表します。さらに、自らも被災されながら地域の歯科医療と救援活動の維持にご尽力されている皆様の献身的なご努力に、深く敬意と感謝を申し上げます。

突如として本県を襲った大地震により、私たちが生活する地域社会は再び大きな混乱と痛みに包まれました。平成28年熊本地震からの復興を歩んできた私たちにとって、「なぜ2度もこのような辛く過酷な思いをしなければならないのか。」という悔しさが先に立ちましたが、どれほど甚大な被害を受けようとも、会員と県民の健康と命を守るという我が歯科医師会の責務が変わることはありません。私自身、発災後すぐに被災会員の元へ車を走らせましたが、先生方のお姿、被災した診療所を拝見して、改めて被害の甚大さを目の当たりにしつつ、今は私ども歯科医師会としてできることを精いっぱい取り組むことが使命であると意を固くいたしました。

この困難な局面に際し、全国の歯科医師会をはじめ、歯科関係団体、企業の皆様から温かい励ましのお見舞いや物資のご支援をいただきました。全国の仲間からの迅速かつ手厚い温情は、不安の中にある私たちにとって何よりの大きな支えであり、勇気となりました。この場をお借りして心より深く御礼申し上げます。

発災直後より、本会では直ちに災害対策本部を設置し、会員医療機関の被災状況把握と支援体制の構築に全力を注いでまいりました。同時に、日本歯科医師会や関係機関、JDAT（日本災害歯科支援チーム）とも迅速に連携を図り、避難所における口腔衛生に関する指導、誤嚥性肺炎をはじめとする二次感染症の予防対策、歯科診療車による救護所設置など、多角的な緊急支援を展開しております。現地に駆けつけ、酷暑下の過酷な避難所環境下で被災者の口腔ケアや健康維持に昼夜を分かたず尽力してくださっている特に九州地区のJDATの皆様の迅速かつ精力的な活動に、心からの感謝と深い敬意を表します。皆様の力強いご支援があったからこそ、避難者の命と健康を守る活動を円滑に展開することができております。

過去の災害が教えてくれた最も重要な教訓の一つは、「非常時におけるお口の健康管理が命を守る」ということです。ライフラインが途絶え、大変困難な状況下にある避難所や地域において、一人ひとりの口腔の健康を支え、全身の健康維持に寄与することこそ、私たちが現場で果たすべき使命であります。また、これまでの経験、反省をもとに、10年前と比較しますと、国、県、被災地区、日本歯科医師会、九州地区連合歯科医師会、関係団体、郡市歯科医師会との連携が非常に密でスムーズな連携ができてきていると感じており、関係者の皆様方のご尽力にも感謝を申し上げます。

復旧・復興への道のりは決して平坦ではなく、長期にわたる支援が必要とされるでしょう。会員の皆様ご自身や診療所の復旧支援はもちろんのこと、地域の歯科医療供給体制を一日も早く完全に立て直し、県民の皆様が安心して歯科医療を受けられる環境を取り戻さなければなりません。会員の皆様におかれましては、甚大な疲労の中とは存じますが、我々歯科医師会は互いに手を携え、力を合わせてこの局面を切り拓いていきましょう。過去の試練を乗り越えてきた熊本の歯科界には、互いを支え合う強い絆があります。「いかなるときも、地域医療の灯を絶やさない」という強い決意のもと、本会は一致団結してこの難局を乗り越えていく所存です。

結びに、ご支援いただいたすべての方々へ重ねて感謝申し上げますとともに、被災地の日も早い復興と、会員の皆様の診療所の復旧、そして県民の皆様が平穏な日常に戻ることを切に祈念し、巻頭言といたします。

令和8年 熊本地震 災害歯科支援活動



伊藤日歯常務理事（前県歯会長）と牛島会長、椿副会長



県歯会館での災害対策本部会議の様子



各避難所に口腔ケアのポスターを掲示し、口腔ケアグッズを支給



石川県歯会より歯科巡回診療車「ハミルン（歯診るん）」も応援のため、来熊



県歯会館ロビーで、当日の打合せを行うJDATの皆様



歯科巡回診療車内での被災者への治療活動を実施

ともに学び、未来へつなぐ学術活動



理事 豊田 正仰

このたびの令和8年熊本地震により被災された会員の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、厳しい状況の中にあっても地域歯科医療を守るため、診療の継続や復旧に尽力されている先生方ならびに関係者の皆様に、深く敬意を表します。熊本県歯科医師会がこれまで大切に培ってきた「支え合い」の精神のもと、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

県歯の学術担当理事を拝命しております豊田正仰です。責任の重さを感じるとともに、会員の皆様の学びと日々の診療を支える役割を担わせていただくことを、大変光栄に感じております。

近年、歯科医療を取り巻く環境は大きく変化しています。超高齢社会の進展に伴う口腔機能管理の重要性の高まりに加え、デジタル技術やAIの急速な発展、CAD/CAMシステムや口腔内スキャナーの普及など、診療のあり方は大きな転換期を迎えています。さらに、令和8年度診療報酬改定においても口腔機能に関する評価が一層重視されるなど、私たちに求められる知識や技術はますます多様化しています。こうした時代だからこそ、学術担当として目指したいのは、「参加して良かった」「読んで良かった」と実感していただける学術活動です。最新の知見を学べる講演会や研修会を企画するだけでなく、診療に役立つ情報や制度改正、新たなガイドラインなどを、分かりやすくタイムリーにお届けすることも学術委員会の重要な使命であると考えています。

勤務医、開業医、若手、ベテランと、それぞれの立場に応じて学びを深められるよう、専門性の高いテーマはもちろん、医療安全、感染対策、医療DX、口腔機能管理、多職種連携など、日常診療に直結する内容についても積極的に取り上げてまいります。また、会員の皆様から寄せられるご意見やご要望にも真摯に耳を傾け、双方向性のある学術活動を推進していきたいと考えています。

さらに学び方そのものも大きく変化しています。日歯では、生涯研修事業の運用が見直され、オンデマンド配信をはじめとする新たな学習環境が整備されました。一方で、従来の受講方法からの変更により戸惑いやご不便を感じておられる会員の皆様も少なくないと思います。学術委員会としては、こうした制度変更が会員の皆様の負担とならないよう、必要な情報提供やサポートに努め、誰もが安心して学び続けられる環境づくりを進めてまいります。

学術は決して一部の人のためのものではなく、すべての会員、そしてその先におられる患者さんのためにあります。一人ひとりの学びが熊本県全体の歯科医療の質の向上につながり、その積み重ねが県民の皆様の健康増進に寄与することを願っています。

微力ではございますが、会員の皆様のお力添えをいただきながら、実りある学術事業の推進に努めてまいります。今後ともご指導、ご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



10年前の経験を活かし、被災 会員と被災者の迅速な支援を

— 第15回理事会 —

7月28日(火)午後7時より県歯会館において、太田理事、神山監事を除く牛島会長他役員、永松監事出席のもと開催された。

1. 開会
2. 挨拶：牛島会長

今日の地震で10年前の記憶が呼び戻り、精神的にダメージを受けている方も多いと思います。

県も災害本部を立ち上げ、健康福祉部にもまもなく医療供給調整本部が立ち上がると聞いております。しばらくは、大きな余震に気をつけて、まずは先生方、ご家族、職員、学生全て含めて身の安全を優先していただければと思います。

会館は、4階ホール天井の一部が少し欠けて落ちていたということです。学院は、物の散乱はありますが10年前の地震の時にキャビネットを固定していたので今回は倒れてはいませんでした。センターは、入り口のタイルが少し隆起しており亀裂が入っている状況です。学院の学生が2名程、帰れない状況になっておりますが、個々に連絡を取りながら無事を確認しているところです。

今後の災害対策本部につきましては、役員と連絡をとりながら進めていきたいと思っております。

3. 議長選出：牛島会長
4. 議事録署名人：永松監事、牛島会長
5. 会務報告：(自：6月5日～至：7月23日)
6. 報告事項：
 1. 退会会員について
 2. 会員の表彰について
 3. 令和8年度日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会受講審査の結果について
 4. 購入土地建物解体・整備について
 5. 口腔機能実地指導料の施設基準に関する研修会について
 6. 事業実施報告書について
 7. 6月末会計現況について
 8. 職員の人事異動について



7. 連絡事項：

1. 8月行事予定について

8. 承認事項：

1. 新入会員の承認について

【承認】審議の結果、第1種会員1名の入会を承認した。

2. 関係機関・団体からの役員等推薦依頼について

【承認】①熊本県がん対策推進会議 委員／熊本県健康づくり推進課

推薦：太田理事（任期：委員就任日～令和10年3月31日）

【承認】②スポーツ医科学専門委員会 委員／公財）熊本県スポーツ協会

推薦：大林副会長（任期：令和8年7月8日～2年間）

【承認】③熊本県保健医療推進協議会 委員／熊本県健康福祉政策課

推薦：牛島会長（任期：選任の日～令和10年3月31日）

【承認】④熊本県循環器病対策推進協議会 委員／熊本県健康づくり推進課

推薦：馬場常務理事（任期：委員就任日～令和9年3月31日）

【承認】⑤社会歯科学会 理事／社会歯科学会

推薦：牛島会長（任期：令和8年6月14日～令和10年度総会まで）

【承認】⑥「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」等に係る懇談会委員／熊本県後期高齢者医療広域連合

推薦：町田常務理事

【承認】⑦熊本地域リハビリテーション支援協議会 委員／熊本地域リハビリテーション支援協議会

推薦：町田常務理事（任期：令和8年7月～）

3. 後援名義使用依頼について

【承認】①〔後援〕部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第54回熊本県人権研究大会／熊本県人権教育研究協議会

【承認】②〔後援〕第62回熊本県精神保健福祉大会／公社）熊本県精神保健福祉協会

9. 議題：

1. 関係機関・団体への会費等の納入について

【可決】①令和8年度会費／熊本市防災協会…8,000円

【可決】②令和8年度年会費／熊本県国際協会…10,000円

【可決】③令和8年度賛助会費／公社）熊本県防犯協会連合会…10,000円

【可決】④令和8年度会費／熊本県防衛協会…10,000円

【可決】⑤令和8年度団体会費／社会歯科学会…30,000円

2. 共催依頼について

【可決】第16回県民公開講座／熊本大学病院緩和ケアセンターについて審議の結果、原案通り可決承認した。

3. 本会エレベーター部品交換について

【可決】審議の結果、今回は急ぎ対応が必要な部品のみを交換することとし、来年度以降に計画的に全部品の交換を進めることで可決承認した。

4. 口腔保健センター什器備品(サイコリッチ)購入について

【可決】センターの備品購入について提案。審議の結果、購入することを可決承認した。

5. 地域医療介護総合確保基金に係る新規事業の提案について

【可決】一部追加修正のうえ提出する旨の報告があり、可決承認した。

6. 令和8年度出産育児就業制限による県歯均等割会費及び県歯共済互助負担金免除申請の認定について

【可決】審議の結果、原案通り可決承認した。

7. 保存期間を経過した会計帳簿の廃棄について

【可決】審議の結果、原案通り可決承認した。

8. 公益財団法人熊本県学校保健会への財源援助について

【可決】寄付について説明。審議の結果、原案通り可決承認した。（役員は5口15,000円）

9. 月刊歯科医事新聞「2026年残暑名刺広告」の掲載について

【可決】審議の結果、原案通り可決承認した。

10. “救急の日”の行事に係る参加協力について

【否決】審議の結果、今回は、開催時期に行事が立て込んでおり事務局長よりお断りすることとした。

11. 部活動補助金交付申請について

【可決】第56回かめる会展／熊本県歯科医師会芸術同好会かめる会（13名）について説明。審議の結果、原案通り可決承認した。（4,000円／名×13名＝52,000円）

10. 協議事項：

1. 令和8年度第1回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議について

・資料に基づいて説明。報告・資料の有無の連絡期限は8月21日（金）までに、配布資料の提出期限は8月31日（月）までに、いずれも宇治専務理事、事務局の岡課長補佐（cc:担当の副会長、常務理事、職員）にメールにて連絡するよう指示があった。

11. 監事講評：

永松監事「予期せぬ地震でこの非常事態の中、皆様お疲れ様でした。以前から考えていたことですが、今度11月に防災庁が設置されるということで、災害対策委員会の常設化について考えてもいいと思います。それから骨太方針2026が発表されました。これに歯科関係が入ったのが2017年。いよいよ国民皆歯科健診の具体化と歯科専門職の偏在対策が明記され、27年に国民皆歯科健診が実現できればというような方向・進捗状況が分かって参りましたので期待しております。」

12. 閉会：椿副会長

（広報 秋山 清）

下益城郡歯科医師会

令和8年度 歯の健康展を開催して

— 令和8年度 歯の健康展 —

6月6日(土)イオンモール宇城のイベントスペースにて、下益城郡歯会主催による標記イベントを開催した。開催時間は午後2時から午後5時までの3時間であったが、開始前からイベントを楽しみに待つ来場者の列ができるなど、地域の皆様の関心の高さがうかがえるスタートとなった。

今年は、昨年以上にポスターや資料を充実させ、お口の健康の大切さや予防歯科について、より多くの方に知っていただけるよう啓発活動に力を入れた。当日は、小さなお子様連れのご家族を中心に多くの方々にご参加いただき、「歯科は何歳から受診すればよいですか」「仕上げ磨きの方法がわからない」「歯磨きを嫌がると

きはどうしたらよいですか」など、子育て世代ならではの質問が数多く寄せられた。歯科医師や歯科衛生士が一人ひとりに丁寧に対応し、ブラッシング方法や食生活、フッ化物の活用などについて分かりやすい説明を行った。

今回のイベントを通じて、地域の皆様がお口の健康について考える良いきっかけとなり、予防歯科の重要性を広くお伝えすることができた。ご協力いただいた会員の先生方、歯科衛生士、スタッフならびに関係者の皆様のおかげと心より感謝する。今後も下益城郡歯会では、地域住民の皆様の健康増進に寄与できるよう、継続して活動に取り組む所存である。



家族連れの来場者に多くご参加いただいた

(田染 直子)

阿蘇郡市歯科医師会

賛成多数により可決承認された

— 通常総会 —

7月8日(水)午後7時より阿蘇郡市医師会館において、標記会が開催された。

佐藤会長の挨拶に始まり、安光副会長を議長に選出し、議事が進行された。

報告事項では、園田専務理事より令和7年度会務報告、三森常務理事より会計報告、武藤監事より会計監査報告が行われた。

議事では、第1号議案「令和7年度会務及び会計決算の承認を求める件」、第2号議案「令和8年度事業計画(案)の承認を求める件」、第3号議案「令和8年度会計予算(案)の承認を求める件」について審議され、すべて賛成多数により承認された。

令和8年度も学術研修会、社会保険への対応、地域保健活動、学校歯科保健、在宅歯科医療連携など、地域歯科医療の充実に向けた各種事業

を継続していくことが確認された。

総会終了後には、隈井理事より南阿蘇「歯と口の健康週間事業」の報告が行われた。写真や動画を交えながら当日の様子が紹介され、歯科衛生士会の協力のもと、参加者アンケートでも「分かりやすかった」との声が多く寄せられ、有意義な事業となったことが報告された。

その他今後の予定の確認、また県歯社会保険担当理事である園田専務理事より令和8年度診療報酬改定の重要ポイントについて説明が行われ閉会した。

今後も阿蘇郡市歯会では、会員相互の連携を深めながら、地域住民の健康増進に寄与する活動を継続していく。

(多田 真一郎)



園田専務理事より、会務報告等の説明が行われた

八代歯科医師会

明日の診療へ活かす

— くま歯キャラバン隊社会保険講演会 —

7月11日(土)午後4時より、八代歯会口腔保健センターにて、標記会が行われた。野田県歯社会保険担当理事より、2時間にわたり講演が行われた。



真剣に聞き入る会員

歯周治療に関する改定点では、「P重防とSPTの統合」「SPTからSRPへの戻りの注意点」について、歯内療法・麻酔・外科に関する改定点では、「NiTiロータリーファイルを用いた加圧根充」「コア除去算定の要件」「麻酔の算定タイミング」「外科処置の点数引き上げ」について、歯冠修復・欠損補綴に関する改定点では、「CAD／CAM冠・インレーの算定要件」「新設されたブリッジ」「暫間被覆冠の適応拡大」などについての説明があった。診療報酬改定後1か月が経過し、日常診療の中で疑問があった部分についても分かりやすいスライドと解説があり、講演後の質疑応答でも丁寧な回答を頂き、大いに診療に活かせる内容であった。

(阿川 健太郎)



荒尾市歯科医師会

中村会員が熱戦を制し優勝

— 原口杯「親睦釣り大会」—

7月19日(日)、標記会が開催された。当日は曇り空に時折日が差す天候となり、暑いながらも熱中症対策を十分に行えば、何とか釣りを楽しめるコンディションであった。

今年も狙うターゲットは「シロギス」。釣る楽しみだけでなく、釣った後の刺身、塩焼き、天ぷらなどを食べる楽しみも魅力である。参加者10人は午前7時頃に長洲港を出港し、有明海のポイントへ向かった。最初は岸から200～300メートルの所で釣りを開始したが、誰一人当たりがなく、30～40分かけて島原の町が見える、船長おすすめのポイントまで移動した。移動先では遠くまで足を延ばした甲斐があり、次々とシロギスが釣れ始めた。さらに黒鯛や真鯛、タコなどの高級魚も釣れ、参加者は大いに釣りを満喫した。午後1時に納竿して長洲港へ



参加者10人で釣りを満喫

帰港した。

その後、表彰式を行い22.5cmのシロギスを釣り上げた中村会員が見事優勝し、大会の栄冠に輝いた。又、他魚の部では43.5cmの黒鯛を釣り上げた田中文丸会員が優勝した。

天候にも恵まれ参加者それぞれが釣果を楽しむとともに、親睦を深める有意義な大会となった。



優勝の中村会員

(玉名郡市 永廣 有伸)



全議案可決承認

— 県歯科医師国保組合臨時組合会 —

7月25日(土)午後4時より、県歯会館にて標記会が開催された。事務局による点呼が行われ、総議員30人中23人が出席し、議長より会議の成立が宣言された。

— 牛島理事長挨拶 —

先生方、こんにちは。毎日暑い日が続いていますが、体調は大丈夫でしょうか。先生方におかれましても十分にご注意されてください。

本組合の現状ですが、今年の4月から子ども・子育て支援納付金保険料が導入されています。国の政策ということもありますが、被保険者の皆様から国保組合が徴収し国へ収める事となっております。

本組合は全国国民健康保険組合協会に加入しています。医師、歯科医師、薬剤師等の小さな健康保険組合の集まりで協会を通して、国の政策に対して意見、要望を行なっております。今後も色々な形で要望を行っていきたいと思っております。

保険者インセンティブというものがありまして、被保険者の健康増進などの施策を行うことで点数が得られ補助金を受け取れるというものです。そういった制度を活用していきたいと考えております。

今日は予算等の議題の審議もありますので、慎重審議よろしくお願い致します。



組合員へ挨拶をされる牛島理事長

次に大塚議長より議事録署名人に熊本市の瀬井議員、天草郡市の濱崎議員が指名され、6人の物故会員に全員で黙祷が捧げられた。

続いて上野副理事長、宇治常務理事より会務報告・業務報告・規約の一部改正についての報告がなされた。

続いて議題に入った。

第1号議案 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出決算について

第2号議案 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出決算剰余金処分(案)の承認について

第3号議案 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合役職員退職手当積立金特別会計歳入歳出決算について

第4号議案 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合役職員退職手当積立金特別会計歳入歳出決算剰余金処分(案)の承認について

第1～4号議案の説明があり、続いて阿久根監事より監査報告がなされ、以上の4議案について全員一致で賛同、可決承認された。

続いて、

第5号議案 令和8年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出補正予算(案)の承認について

の説明があり、全員一致で賛同、可決承認された。

提出された全5案全て可決承認となった。

協議では執行部より次回の組合会日程と今後の保険者インセンティブの実行に關しての現状の各郡市の取り組みの聞き取り等が行われた。

以上の協議を終え、野田理事から閉会の挨拶があり、散会となった。

(野田 和宏)



**日本歯科医師会PRキャラクター
「よ坊さん」 出場中**

ゆるバス

1日1票、応援よろしくお願いします！！

投票期間

8月1日(土)
↓
10月3日(土)

投票方法

- ①ゆるバス公式サイト「ゆるナビ」にアクセス
- ②無料ID登録
- ③「よ坊さん」を選んで投票ボタンをクリック

よ坊さんへの投票は
こちらから↓



口腔保健センター新聞

第13号



外来では、障がいをお持ちの方の歯科診療を行っています！ ※休日診療はやっていません×

診療案内	月	火	水	木	金	土	日 祝日
外来診療	★	10:00~13:00 14:00~17:00	休	10:00~13:00 14:00~17:00	10:00~13:00 ◎	10:00~13:00 14:00~17:00	休
IV-s 診療 【日帰り】		●		●			

※設備の都合上、全身麻酔は行えません🥲

★月曜：訪問診療（障がい児・者）

◎金曜午後：診療トレーニング

IV-s（静脈内鎮静法）：午前は【処置中心】、午後は【P 管理】にて診療しています♪

障がい児（者）歯科医療を支える専門性の向上一 歯科衛生士勉強会と病院歯科連携の取り組み —

熊本県歯科医師会口腔保健センターでは、障がい児（者）に対して安全で質の高い歯科医療を提供するため、日々の診療に加え、スタッフの専門性向上を目的とした勉強会や関係機関との連携強化に取り組んでいます。

障がいのある方への歯科医療では、口腔内の管理だけでなく、それぞれの障がい特性、全身状態、生活背景を理解した上での対応が求められます。そのため、診療に携わる歯科衛生士が継続的に学習し、知識や技術を高めることは、安全で質の高い医療を提供するために重要です。

また、患者の状態によっては病院歯科との連携が必要となる場面も多く、地域の医療機関との協力体制を構築することが、障がい児（者）歯科医療の充実につながると考えています。

■ 歯科衛生士勉強会の取り組み

口腔保健センターでは、センターに勤務する歯科衛生士を対象として、月1回の勉強会を継続的に開催しています。勉強会では、障がい児（者）歯科診療に必要な知識や技術の向上を目的として、日々の診療で得られた経験の共有や症例検討、専門的知識の習得に取り組んでいます。内容は、診療時の安全管理、障がい特性への理解、口腔ケア、摂食嚥下、患者対応など多岐にわたり、実際の臨床現場に活かせる内容を中心に実施しています。

■ 勉強会の主な内容

令和7年度の勉強会では、救急対応や医療安全に関する内容として、酸素ボンベの取り扱いや救急カートの確認、救命救急について学習を行いました。また、薬液、滅菌・消毒、レントゲン撮影など、日常診療に欠かせない基本的な知識についても再確認を行っています。

専門性向上への取り組みとしては、障がい者歯科学会認定歯科衛生士試験問題演習や学術集会内容の共有を行い、障がい者歯科に関する知識の向上を図っています。

さらに、摂食嚥下機能についての学習や訓練方法の相互実習、セルフケア指導に関する実技実習を行い、患者一人ひとりに応じた口腔ケア支援につながる技術習得に努めています。

また、神経発達症や染色体異常に伴う症候群など、障がい特性への理解を深める学習も行っており、患者の特性を理解し、適切なコミュニケーションや支援方法を検討することは、障がい児（者）歯科診療において非常に重要です。その他にも、静脈内鎮静法や脳性麻痺患者への体位調整（クッションの活用）、患者応対・支援方法など、診療の安全性や患者への配慮につながる内容について学びを深めています。

■ 勉強会を通じた診療の質の向上

障がい児（者）歯科診療では、患者ごとに異なる特性や課題に対応する必要があり、単一の方法では十分な支援を行うことが難しい場合もあるため、勉強会を通じてスタッフ間で知識や経験を共有し、それぞれの患者に適した対応方法を検討することは、診療の質を高める上で重要な取り組みとなっています。また、歯科衛生士同士が学び合うことで、個々の経験をセンター全体の財産として蓄積し、より安全で安心できる診療体制の構築につなげていきたいと考えています。

■ 病院歯科との連携強化に向けた取り組み

障がい児（者）歯科医療を安全かつ円滑に提供するためには、地域の病院歯科との連携が不可欠です。特に、全身管理が必要な患者や医療的ケアを必要とする患者への対応では、歯科医療機関と病院歯科がそれぞれの役割を理解し、協力体制を構築することが重要となります。



活発な意見交換が行われた

令和8年7月24日（金）午後7時30分より、県歯会館3階研修室において「第3回熊本県歯科医師会口腔保健センター・病院歯科連携協議会」が開催されました。本協議会には、西日本病院、伊東歯科口腔病院、熊本県こども総合療育センター、くまもと成仁病院、熊本大学病院、国立水俣市立総合医療センター、天草中央総合病院、鶴田病院の各担当歯科医師ならびに、口腔保健センター役員および常勤歯科衛生士が参加しました。

開会にあたり、牛島県歯会長より主催者挨拶が行われ、続いて当センターの川島診療部長より、口腔保健センターの現状報告が行われました。協議では、各病院歯科における障がい者歯科診療への取り組みについて報告が行われるとともに、口腔保健センターと病院歯科との連携強化を主題として、活発な意見交換が行われました。本協議会は、県内における障がい者歯科診療ネットワークの構築を目的として開催されています。口腔保健センターと病院歯科との間で「顔の見える関係」を築くことの重要性が確認され、全身麻酔を用いた共同診療など、具体的な連携事例についても情報共有が行われました。一方で、歯科衛生士の人材確保、治療待機期間の長期化、治療終了後の逆紹介体制など、今後さらに検討が必要となる課題についても共有されました。

最後に、当センターの大坂副センター長による閉会の挨拶をもって終了しました。

今後は、障がい者歯科医療を取り巻く環境の変化を見据え、地域医療機関と県歯が協力し、県内どの地域においても適切な歯科医療を受けることができる体制づくりに向け、継続的な連携強化を図ってまいります。

口腔保健センターでは、日々の障がい児（者）歯科診療に加え、歯科衛生士の継続的な学習や病院歯科との連携を通じて、より安全で質の高い歯科医療の提供を目指しています。

今後もスタッフ一人ひとりの専門性向上に努めるとともに、地域の医療機関や関係機関との協力体制を強化し、障がいのある方とご家族が安心して歯科医療を受けられる環境づくりに取り組んでいきます。

★ くまもる通信 第1話 障害者歯科って特別？ ★





「思い出話」

阿蘇郡市 高森 経義

昭和38年、九州歯科大学卒業で、その頃の事を思いつきですがお話したいと思います。

卒業後、同大の保存学教室に勤務しました。これは教授が熊本県出身の為でしたが、数年後に定年退官されましたので、私も退局届を提出しましたが、たまたま医局員を募集中の麻酔学教室に異動し勤務致しました。麻酔科教授からいろいろときびしい教育でした。当時は全国に歯科大学は「学部含む」8大学のみで先輩方からは歯科医師不足で困るとのこともよく耳にしていました。特に学校健診後の児童・生徒が治療カード持参で、各診療所でも診療時間を繰り上げて診療されている所もありました。全国的にこのような状況の中、「厚生省」(現 厚労省)が、歯科大学の増設になって現在の大学数になったと思います。熊本県議会の中で、本県にも歯科大学設立か、熊大に歯学部増設をと一時話題になりましたが、当時の県歯科医師会長(故人)が県議会議員でしたので、議会の中で、熊本県には必要ではないと大反対され、立ち消えになったこともありました。

一方、私は公立病院の歯科に長期にわたり勤務もしました。この歯科には私を含め3人の歯科医がいました。歯科衛生士は当然いましたが、正看護師も1人配属されていて、口腔外科関連の処置の時には側に居て、いろいろと血圧や心拍等の検査は大変助かりました。

只、一番自分自身にも勉強になりました事があります。それは紹介患者でしたが、全く手が出ないALSの男性でしたが、神経内科の医師の指導を受けながら、看護師、ヘルパーの皆さんの協力で、4週間位だったと思いますが入院治療で歯科疾患処置を終えました。又、医科歯科の格差の大きかった時代でこの病院内で1ヶ月1回の全体医局会の時には大変苦労した事もありました。

この病院を退職後に開業したのですが、数年後に国保レセプトの審査会に十数年出務しました。只、人間の関わりとは不思議なもので、初めての日、県薬剤師会長に偶然出会い何うも、驚かれたのです。それは、私と郷里が同じで実家も近くに調剤薬局を開業されていました。私は初めての審査会でその内容も手順も分からない中、いろいろとお尋ねしながらやっていたら、3ヶ月位でしたか、その会長より、医科審査員と年に2回程、審査会最終日にお互いの勉強会をしているので、歯科からも私に参加しないかと誘われましたので参加しました。私は医科歯科の格差に当時から苦しめられた事がありましたので、医科から見た歯科、歯科から見た医科、薬剤師からは新薬説明、二師会への意見等、いわゆる私的な情報交換会を、後は気持ちだけの食事会になりました。これも思い出の1つです。麻酔科医局は当然退局ですが、教授の計らいにより、当初、宿題を出されていました。完了する為、同教室の同門会の一人として、現在まで在籍中です。

最後に、冒頭の話になりますが、当時は本県には無歯科医村も存在して、地方の先輩方々も日常診療にはご苦労されていました。又、学校健診も地方には分校が多く、健診時間より分校と分校に行く時間がかかるとよく耳にしていました。

まとまりのない思い出話でしたが、お目通しいただき、大変有難うございました。

ご 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



春野 惟一 先生

令和8年8月12日 ご逝去 70歳

- 郡 市 名：玉名郡市
- 入会年月日：昭和59年5月22日



- ①今もっとも関心のあることを教えてください。
- ②自分が希望する歯科診療とはどのようなものとお考えですか。
- ③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
- ④今後の抱負は何ですか。

第1種会員



陶山 新吾
(スヤマ シンゴ)

陶山歯科医院川崎歯科医院

熊本市中央区安政町2-26

- ①接着修復やMIを取り入れ、できるだけ歯を残す治療について日々学んでいます。
- ②患者さん一人ひとりに寄り添い、長く健康な歯を維持できるような診療を心掛けています。
- ③マイクロスコープを活用した精密治療と、できるだけ歯を削らない接着修復治療に力を入れています。
- ④地域の皆さまのお口の健康に貢献できるように、日々研鑽を積みながら、信頼される歯科医師を目指していきます。

会 務 報 告

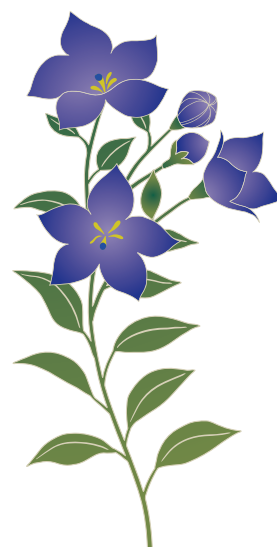
 自 令和8年6月5日
至 令和8年7月23日

所管	日付	摘要	出務者
総 務	6月8日	さわやか長寿財団第2回理事会（ホテル熊本テルサ）	牛島会長
	9日	本会事業・会計監査 R7年度決算監査	神山・永松監事、牛島会長、工藤副会長、宇治専務理事、太田理事、吉永会計士
		第14回理事会【承認事項】 （1）新入会員（2）関係機関・団体からの役員等推薦依頼（3）後援名義使用並びに講師・指導助言者推薦依頼 【議題】 （1）関係機関・団体への会費等の納入（2）令和7年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算（案）（3）令和8年度定時代議員会の日程資料並びにタイムスケジュール ほか	牛島会長他全役員、渡辺議長、河原副議長
	12日	【書面】県移植医療推進財団定時評議員会	牛島会長
	13日	第11回社会歯科学会総会・学術大会（愛知県歯会館）	牛島会長
		県保険医協会創立50周年記念シンポジウム・祝賀会（メルパルク熊本）	椿副会長
	15日	肥後医育振興会6月期評議員会（KKRホテル熊本）	牛島会長
	16日	肥後銀行挨拶来館 百周年記念誌持参	牛島会長
	17日	支払基金審査運営協議会（支払基金）	牛島会長
	18日	第208回日歯定時代議員会（1日目）（日歯会館）	牛島会長、椿副会長
	19日	第208回日歯定時代議員会（2日目）（日歯会館）	牛島会長、椿副会長
	20日	口腔機能実地指導料に係る研修会についての打合せ	牛島会長、宇治専務理事
		くま歯キャラバン隊（菊池郡市）（笹乃家）（1）点数改定対策研修 受講者：35人	園田理事
		玉名郡市歯会定時総会（玉名市文化センター）	工藤副会長
		荒尾市歯会通常総会懇親会（ホテルヴェルデ）	宇治専務理事、馬場常務理事
		人吉球磨歯会通常総会（人吉市）	牛島会長
		日本歯科大学校友会熊本支部総会（熊本市）	椿副会長
		八代歯会定時総会懇親会（八代ホワイトパレス）	椿常務理事他1人
		菊池郡市歯会定時総会懇親会（菊池市）	町田常務理事
	23日	月次監査 5月末会計現況監査	神山・永松監事
		【Web】第23回常務理事会 （1）関係機関・団体からの役員等推薦依頼（2）関係機関・団体への会費等の納入（3）後援名義使用依頼 ほか	【Web】牛島会長、椿副会長・宇治専務理事を除く常務理事以上全役員 【来館】椿副会長、宇治専務理事
	25日	【Web】第1回県保険者協議会	永江事務局長
		【Web】地域医療介護総合確保基金打合せ 県健康づくり推進課・県認知症施策・地域ケア推進課との打合せ （1）新規事業提案内容	【来館】宇治専務理事 【Web】大林副会長、馬場・町田常務理事、太田・高田・松原崇土理事
	26日	【Web】くまもとメディカルネットワーク（KMN）コアメンバー会議	宇治専務理事
	27日	定時代議員会【議事】第1号～第6号議案	牛島会長他全役員、渡辺議長、河原副議長他全代議員
	28日	県歯科技工士会定時総会（市流通情報会館）	牛島会長
	29日	ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展打合せ （1）出展内容（2）出務者	椿常務理事、松原良太理事
	30日	賞与授与式	宇治専務理事
	7月4日	熊本市歯会親睦大会（ワン・ステーションホテル熊本）	牛島会長、大林副会長他1人
	6日	県救急医療連絡協議会（県医師会館）	宇治専務理事
		【Web】令和8年度診療報酬改定に関する勉強会その2（第4回会長勉強会）	牛島会長
	7日	【Web】第24回常務理事会 （1）関係機関・団体からの役員等推薦依頼（2）後援名義使用依頼（3）令和8年度第1回九地連協議会提出協議会の回答 ほか	【Web】牛島会長、椿副会長・宇治専務理事・椿常務理事を除く常務理事以上役員 【来館】椿副会長、宇治専務理事、椿常務理事
	8日	くま歯キャラバン隊（阿蘇郡市）（阿蘇郡市医師会館） （1）点数アップの為に保険診療のポイント 受講者：22人	園田理事
	11日	くま歯キャラバン隊（八代）（八代歯会口腔保健センター） （1）点数改定対策研修 受講者：35人	野田理事
		大阿蘇会総会・講演会・懇親会（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）	宇治専務理事
		県歯会野球部お祝い会（上田博先生・喜寿、田中弥信先生・還暦）（熊本市）	大林副会長
	15日	【Web】支払基金審査運営協議会（診療所）	牛島会長
	16日	第4回災害時等歯科保健医療提供体制整備事業打合せ （1）歯科巡回診療車（2）JDAT研修会	宇治専務理事、椿常務理事、松原良太理事

所管	日付	摘要	出務者
総 務	17日	九州各県事務局長連絡会（大分県） くま歯キャラバン隊（人吉球磨）（あゆの里） （１）点数改定対策研修 受講者：32人	永江事務局長 野田理事
	21日	第25回常務理事会 （１）新入会員（２）関係機関・団体からの役員等推薦依頼（３）関係機関・団体への会費等の納入 ほか	牛島会長他常務理事以上全役員
	22日	熊本空港緊急計画連絡協議会（熊本国際空港株式会社ターミナルビル）	永江事務局長
学 術	6月29日	ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展打合せ （１）出展内容（２）出務者	豊田理事
	30日	【Web】学術委員会（診療所） （１）直近の講演会・研修会（２）ロアッソ熊本イベント（３）九州各県学術担当者会 ほか	豊田理事、飯盛委員長他全委員
	7月1日	【Web】井上貴子先生学術講演会 演題：歯科診療を守る感染症アップデート 変わりつつあるウィルス性肝炎の最新知見 講師：井上貴子先生 受講者：会場12人 Web20人	工藤副会長、豊田理事、飯盛委員長他4委員
	2日	第1回歯周病対策プロジェクトセミナー 演題：中等度歯周炎の検査、診断、治療計画－保健制度を活用した歯周治療の取り組みから－ 講師：東克章先生 受講者：79人	豊田理事他3委員
社会保険	6月29日	【Web】社会保険委員会（各診療所） （１）会員向け発行物（２）個別指導立会者、個別相談対応（２）報告事項と今後の日程	椿副会長、野田・園田理事、桐野委員長他全委員
	7月21日	社会保険個別相談会（菊池市） 相談者：1件	園田理事、市川委員
	23日	保険個別指導（第二合同庁舎） 3医療機関	上田副委員長、原田委員
地域保健 学校歯科	6月6日	歯の祭典リハーサル	馬場常務理事、松原崇士理事、高水間委員長他3委員
		歯の祭典 （１）高齢者のよい歯のコンクール表彰（２）特別講演 宝田歯科 宝田 恭子院長 会場参加者：103人	牛島会長、大林副会長、宇治専務理事、馬場常務理事、秋山・高田・松原崇士理事他7委員、金子アンバサダー
		花王・博報堂・熊日との懇談会（熊本市）	牛島会長、大林副会長、宇治専務理事、馬場常務理事、秋山・高田・松原崇士理事
	8日	フッ化物洗口推進打合せ 県健康づくり推進課、県体育保健課との打合せ （１）歯及び口腔の健康に係る研修（２）フッ化物洗口事業	大林副会長、高田理事、高水間委員長
	10日	世界一受けたい歯の授業打合せ （１）会場・準備物確認	高田理事、高水間委員長
	17日	日学歯第116回定時代議員会（日歯会館）	大林副会長
	18日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	上野委員
		県学校保健会定時評議員会（県医師会館）	高田理事
	22日	生活歯援プログラム（西田鉄工）	歯科衛生士2人
		地域保健学校歯科小委員会 （１）九州地区学校歯科医会役員連絡協議会	高田理事、高水間委員長他5委員
	7月1日	基本健康調査判定会（水前寺共済会館）	大林副会長
	3日	「熊本県学校保健功労表彰」及び「学校保健及び学校安全表彰（文部科学省）」に係る審査会（県庁防災センター）	大林副会長
	8日	第1回スポーツ医科学専門委員会（県民総合運動公園陸上競技場）	大林副会長
	13日	地域保健学校歯科委員会 （１）世界一受けたい歯の授業	大林副会長、馬場常務理事、高田・松原崇士理事、高水間委員長他8委員
	16日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	上野委員
	21日	【Web】歯及び口腔の健康に係る研修会打合せ（診療所） （１）講師と打合せ	高田理事、高水間委員長
地域包括 ケア	6月9日	【Web】県がん診療連携協議会幹事会第69回相談支援・情報連携部会（診療所）	吉武副委員長
	10日	阿蘇地域歯と口の健康週間事業研修会（南阿蘇村保健センター） 講師：町田由美子先生	町田常務理事
	11日	【Web】県後期高齢者医療広域連合との歯科保健受診率向上への取り組み協議（各診療所） （１）有明圏域市町村訪問の報告（２）動画制作の方向性（３）撮影内容・段取りの整理 ほか	立山理事、川野副委員長
	12日	第37回日本老年歯科医学会総会・学術大会 至6月14日（日）（大阪国際会議場）	町田常務理事
	17日	口の健康と食べる力を支える会挨拶	牛島会長
		【Web】地域包括ケア小委員会（各診療所） （１）在宅歯科医療啓発イベント（２）オーラルフレイル普及定着事業（３）他職種連携研修会 ほか	町田常務理事、立山・太田理事、園田委員長、川野副委員長
	18日	【Web】後期高齢者医療広域連合との歯科健診受診率向上への取り組み協議（各診療所）	立山理事、川野副委員長
	23日	【Web】オーラルフレイル対策支援事業 高森町打合せ（診療所） （１）オーラルフレイル対策支援事業〈4回コース〉（２）お弁当の手配（３）その他	町田常務理事
	25日	【Web】地域における口腔への取り組み導入のための打合せ（診療所） （１）菊池市オーラルフレイル対策普及定着事業モデル地域	町田常務理事

所管	日付	摘要	出務者
地域包括ケア	7月2日	歯科口腔健康審査受診率向上動画撮影 (1) 会長挨拶	牛島会長、立山・太田理事、川野副委員長
	15日	居宅介護支援事業所連絡会（あさぎり町役場第二庁舎）	町田常務理事
		【Web】地域包括ケア委員会（各診療所） (1) 在宅歯科医療連携啓発イベント (2) 認知症対応力向上研修会 (3) 多職種研修会ほか	町田常務理事、立山・太田理事、園田委員長他全委員
	23日	【Web】多職種連携研修会打合せ（各診療所） (1) 研修会概要 (2) 講演内容 (3) グループワーク	町田常務理事、立山理事他8人
広報	6月9日	【Web】広報委員会 (1) 熊歯会報7月号・1校目校正	【来館】月精委員長他3委員 【Web】他2委員
	17日	【Web】広報委員会 (1) 熊歯会報7月号・2校目校正	【来館】秋山理事、月精委員長他3委員 【Web】他2委員
	27日	定時代議員会 取材	西川委員長、川島委員
	7月9日	【Web】広報委員会 (1) 熊歯会報8月号・1校目校正	【来館】秋山理事、月精委員長他2委員 【Web】他3委員
	17日	【Web】広報委員会 (1) 熊歯会報8月号・2校目校正 (2) 公式インスタグラムの効果的な活用法	【来館】秋山理事、月精委員長他2委員 【Web】他3委員
医療対策	6月15日	熊本県警との協議会	牛島会長、宇治専務理事、椿常務理事、松原良太理事、町田委員長他全委員
	7月1日	医療相談	椿常務理事、松原良太理事
	21日	医療対策委員会 (1) 事例報告 (2) 委員提出協議議題 (3) 検討事項 ほか	椿常務理事、松原良太理事、町田委員長他全委員
医療・管理	7月10日	歯科衛生士職業講話	大林副会長、峠歯科衛生士
厚生・医療管理	6月11日	厚生・医療管理小委員会 (1) 歯科医師バンク（LINE活用）(2) 歯科衛生士養成校3校会議 (3) 歯科技工士会との会議 ほか	工藤副会長、牧理事、黒岩委員長
	24日	「こどもシゴト博in熊本」出展者交流会（ホテル日航熊本）	牧理事
	26日	歯科技工士会との意見交換会 (1) 歯科技工士の人材確保 (2) 歯科技工士会への依頼 (3) 1年後の評価	工藤副会長、牧理事
	29日	ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展打合せ (1) 出展内容 (2) 出務者	牧理事
	7月9日	【Web】厚生・医療管理委員会（各診療所） (1) 医療管理だより8月号 (2) 歯科医師バンク（LINE活用）(3) 歯科衛生士養成校3校会議 ほか	工藤副会長、牧理事、黒岩委員長他4委員
	10日	第67回日本歯科医療管理学会社員総会（神奈川県歯会館）	牛島会長
	11日	第67回日本歯科医療管理学会学術大会（1日目）（神奈川県歯会館）	牛島会長、牧理事
	12日	第67回日本歯科医療管理学会学術大会（2日目）（神奈川県歯会館）	牛島会長、牧理事
	16日	九州看護福祉大学学長へのご挨拶（九州看護福祉大学）	牛島会長、大林副会長、宇治専務理事
	17日	歯科衛生士職業周知研修会 (1) 演題：熊本県の歯科保健の現状 講師：永廣裕香歯科衛生士 (2) 演題：歯科衛生士という仕事 講師：中村昌代歯科衛生士 (3) 現役歯科衛生士トークセッション ほか 受講者：2人	牛島会長、工藤副会長
		歯科衛生士養成校3校会議 (1) 歯科衛生士の職業周知・認知度向上 (2) 歯科衛生士不足の要因 (3) 学生募集・進学者確保 ほか	大林副学院長、工藤副会長、牧理事
	18日	天草郡市健康診断（天草地域健診センター）	
センター	6月5日	口腔保健センター臨時役員会（熊本市内） (1) 令和8年度事業計画進捗確認 (2) 救急搬送 (3) 令和9年度事業計画	椿センター長、我那覇・大坂副センター長、三笠常任理事、川島診療部長
	8日	口腔保健センター役職員会（口腔保健センター） (1) センターのセキュリティ (2) 購入品 (3) 病院歯科連携協議会 ほか	椿センター長、我那覇・大坂副センター長、三笠常任理事、川島診療部長
	13日	障がい児・者歯科保健指導（はまゆう療育園） 参加者：32人 保健指導対象者：30人	我那覇副センター長
	26日	歯科健診（パレット新屋敷） 健診：3人 保健指導対象者：1人	川島診療部長
		歯科健診（平成学園） 健診：9人 保健指導対象者：3人	川島診療部長
	29日	歯科健診（はなぞの学苑） 健診：56人	川島診療部長
	7月1日	おおば支援学校保健指導（おおば支援学校） 参加者：小学部3年生6人、4年生6人、5年生5人、6年生3人 保護者6人他参加者12人	三笠常任理事
	3日	口腔保健センター役職員会（口腔保健センター）【協議事項】 (1) 天草郡市歯科医師会との連携 (2) 8月2日BLS研修会 (3) 9月11日摂食嚥下リハビリテーション学会 ほか	椿センター長、我那覇・大坂副センター長、三笠常任理事、川島診療部長
	11日	日本障害者歯科学会打合せ (1) 出前講座 (2) 専門医研修施設	椿センター長、我那覇副センター長他1人
		はまゆう療育園訪問打合せ（口腔保健センター）	椿センター長、我那覇副センター長

所管	日付	摘要	出務者
センター	15日	口腔保健センター長診療日（口腔保健センター）	椿センター長
		ベースアップ評価打合せ（口腔保健センター）	椿センター長、野田理事、川島診療部長
	17日	歯科健診（サポートホームわらび） 健診者：30人	川島診療部長
学 院	6月5日	学院高校訪問（熊本市4件）（各高校）	牛島学院長
	8日	学院高校訪問（熊本市6件）（各高校）	弘中副学院長
	9日	学院高校訪問（熊本市1件）（各高校）	紫藤係長
	10日	学院高校訪問（八代6件）（各高校）	井上教務部長
	12日	学院高校訪問（菊池郡市3件、山鹿市1件）（各高校）	山鹿市藤本理事
	16日	学院高校訪問（上益城3件、阿蘇郡市2件、菊池郡市1件）（各高校）	阿蘇郡市片山建一理事、宇治理事
	19日	学院高校訪問（玉名郡市5件、荒尾市2件、山鹿市1件）（各高校）	大林副学院長、荒尾市田中みどり理事
	20日	第3回オープンキャンパス 参加者：31人	
	22日	第1回教務委員会 （1）行事及び諸会議（2）学院指揮命令系統及び校務分掌（3）学院職員課業一覧 ほか	牛島学院長、大林・弘中副学院長、井上教務部長他全委員
	23日	学院高校訪問（宇土郡市1件、下益城郡1件、水俣・芦北郡市2件）（各高校）	宇土郡市森副会長、水俣・芦北郡市井上会長、永田副会長
	24日	学院後援会役員会 （1）令和7年度講演会事業等報告、決算（案）（2）令和8年度事業計画（案）、予算（案）（3）役員改選 ほか	弘中副学院長
	7月11日	第4回オープンキャンパス 参加者：37人	
	17日	歯科衛生士職業周知研修会 （1）演題：熊本県の歯科保健の現状 講師：永廣裕香DH（2）演題：歯科衛生士という仕事 講師：中村昌代DH（3）現役歯科衛生士トークセッション ほか 受講者：2人	大林副学院長
	23日	第1回ナイトキャンパス 参加者：12人	牛島学院長
国保組合	6月11日	第87回全協通常総会（リーガロイヤルホテル広島）	宇治常務理事
	30日	【Web】第1回九州各県歯科医師国保組合臨時常務理事会（診療所）	宇治常務理事
	7月1日	第1回組合監査 令和7年度決算、令和8年度5月末現況	守永監事、牛島理事長、宇治常務理事
		第1回国保理事会 （1）個人情報保護方針の一部改正（案）（2）令和7年度決算（3）令和8年度補正予算（案） ほか	牛島理事長他（阿久根監事を除く）全役員、大塚議長、浦田副議長
	10日	全協職員研修会（全国町村会館）	竹屋書記
	21日	【Web】国保連合会通常総会（診療所）	牛島理事長



其の
1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も 1000 万円
まで加入 OK

最高「5000 万円」の
保障が無診査で加入 OK

1 年更新で配当金は
毎年加入者へ還元

保険期間は 80 才まで継続可能！
(2025 年の還元率約 49%)

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の
2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！



下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。



個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命 アフラック生命 住友生命 SOMPO ひまわり生命
第一生命 日本生命 メットライフ生命



学校法人 福岡学園

福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

歯科医師への
一歩を、ここから。

専願S特待生制度

FUKUOKA DENTAL COLLEGE

通常学納金**2,630**万円より**1,250**万円の免除

免除額内訳 入学金 **50**万円免除 + 授業料 毎年 **200**万円免除

対象の入学者選抜

- 一般選抜A・B日程
- 大学入学共通テスト利用選抜1・2・3期

選考人数

約 **20** 名

HPは
コチラ



資料請求は
コチラ



令和9年度 入学者選抜日程

地方会場 大阪試験場

令和8年(2026年)

10.31 土

- 総合型選抜1期

令和8年(2026年)

11.28 土

- 学校推薦型選抜

令和9年(2027年)

2.3 水

- 一般選抜A日程
- 大学入学共通テスト利用選抜1期

令和9年(2027年)

3.5 金

- 一般選抜B日程
- 大学入学共通テスト利用選抜2期

令和9年(2027年)

3.20 土

- 総合型選抜2期
- 大学入学共通テスト利用選抜3期
- 一般選抜C日程

学務課入試係 TEL.092-801-1885 FAX.092-801-0427

学士等編入学選抜(2年次編入)

令和9年 3月20日 土

主な行事予定

October

10



熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

6日(火) 第30回常務理事会 (県歯会館)

20日(火) 第31回常務理事会 (県歯会館)

27日(火) 第18回理事会 (県歯会館)

31日(土) 熊歯衛祭 (学院校舎)



県歯公式インスタグラムを開設しました！

- ▼ kumamoto_dental_association
- ▼ 一般社団法人熊本県歯科医師会【公式】

お口の健康に役立つ豆知識や、講演会・各種イベントなどの情報をお届けします。ぜひ、フォローをよろしくお願いいたします！



KUMAMOTO_DENTAL_ASSOCIATION



県歯公式インスタグラム



熊本歯科衛生士専門学院
インスタグラム

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください



編集者のつぶやき (A.K)

夕方まだ診療中の地震で、先生各々に的確な対応があったかと思います。また、被害に遭われた会員の先生方、心よりお見舞い申し上げます。全ての経験は生きるための実になり、糧になります。前を向いて進むことで、より良い未来がきっと訪れるはずです。